

報道機関各位

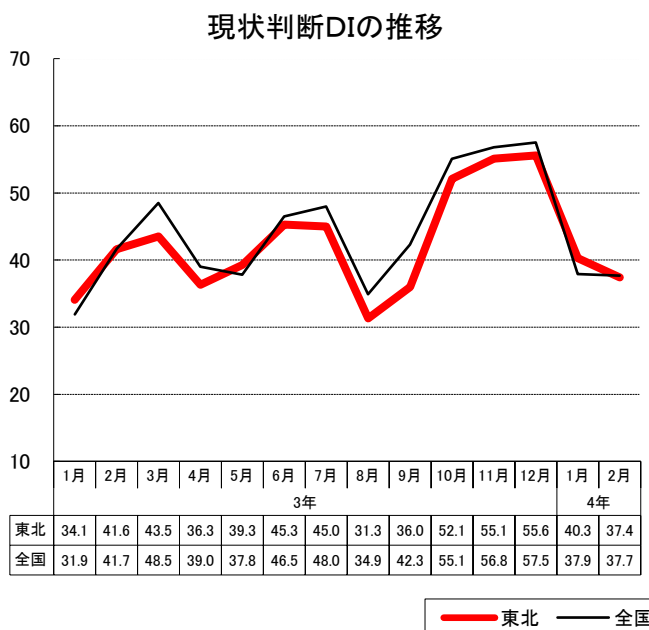
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年2月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年2月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

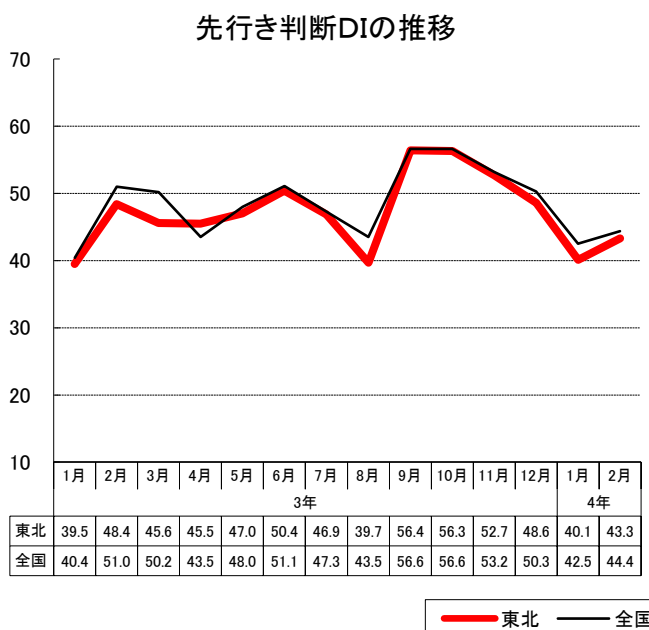
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「37.4」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲2.9ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

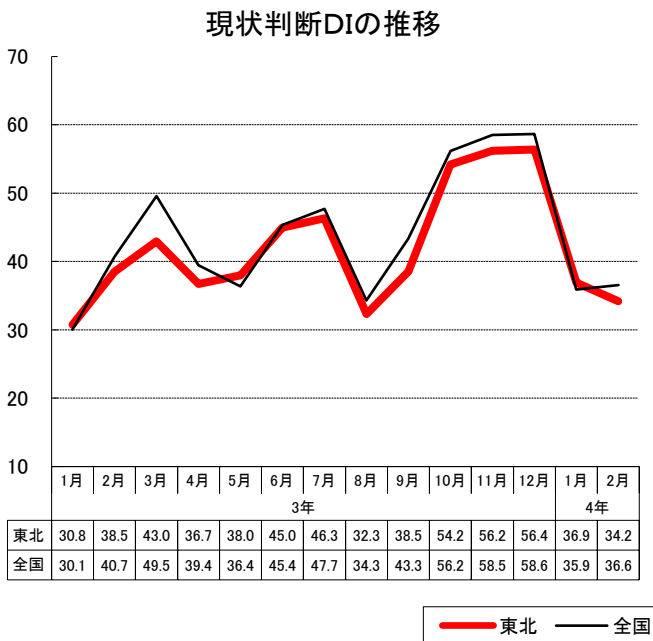
先行き判断DIは「43.3」と5か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.2ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「34.2」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲2.7ポイント低下した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、旅行代理店、一般小売店等の業種でDIが前月を上回ったが、コンビニ、百貨店、美容室等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「31.0」(▲2.6)と、2か月連続で前月を下回った。

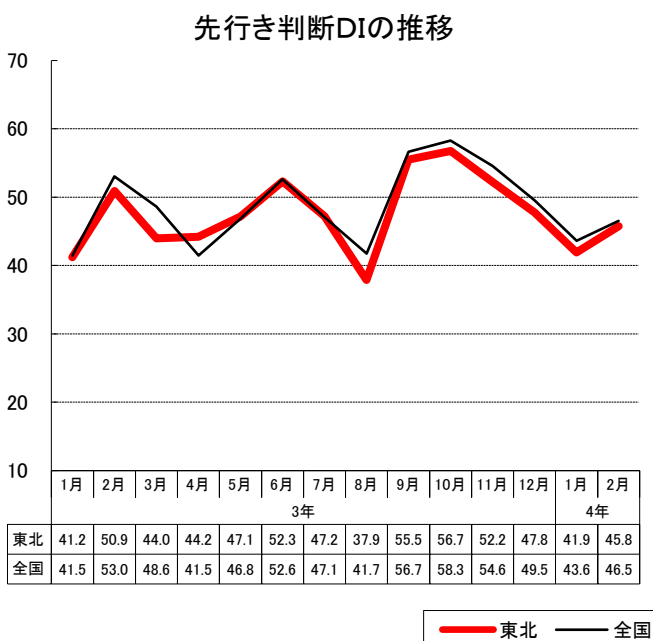
○企業動向関連…輸送用機械器具製造業、金属製品製造業、輸送業等の業種でDIが前月を上回ったが、金融業、農林水産業、その他非製造業[飲食料品卸売業]等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「38.6」(▲1.4)と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「46.1」(▲5.2)と、3か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「45.8」と4か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.9ポイント上昇した。



○家計動向関連…高級レストラン、一般レストラン、スーパー等の業種でDIが前月を下回ったが、旅行代理店、一般小売店、コンビニ等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「45.1」(+4.2)と、5か月ぶりに前月を上回った。

○企業動向関連…出版・印刷・同関連産業、通信業、電気機械器具製造業等の業種でDIが前月を下回ったが、土石製品製造販売、輸送業、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「47.9」(+2.9)と、4か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「46.1」(+4.0)と、4か月ぶりに前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	3年												4年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北現状	30.8	38.5	43.0	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2	56.4	36.9	34.2
家計動向関連	27.7	35.4	40.5	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3	55.4	33.6	31.0
企業動向関連	34.8	45.6	50.8	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1	56.6	40.0	38.6
雇用関連(参考)	42.5	45.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7	62.5	51.3	46.1

（2）先行き判断D I

	3年												4年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北先行き	41.2	50.9	44.0	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2	47.8	41.9	45.8
家計動向関連	41.3	50.8	45.0	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4	45.7	40.9	45.1
企業動向関連	43.2	54.4	40.9	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4	51.5	45.0	47.9
雇用関連(参考)	37.5	45.0	42.5	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2	54.2	42.1	46.1

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和4年2月25日～28日

回答者数 171/189 名、回答率 90.5%（全国 1,808/2,050 名、88.2%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…年末の追い込みにより受注は増加したが、売上は納期の遅れがありここ数年と大差ない。

しかし、これからの需要期に向け徐々に商談は増えてきている。

（住関連専門店）…コロナ禍ではあるが今月は比較的来客数が多く、低額品ではあるが販売数が伸び、やや景気を押し上げている。

（金属製品製造業）…複数の客から増産の要望が出ているが、人員の手配が非常に難しく、要望に対して100%応えられない状況にある。

（民間職業紹介機関）…人材を求めている企業からの問合せが増えている。

○「変わらない」

（一般小売店[寝具]）…当地でも新型コロナウイルス感染が拡大しており、なかなか客先回りができずにいる。相変わらず厳しい。

（スーパー）…2月は取引先各社の商品の製造原価が上がっているなか、仕入価格上昇分の価格転嫁を進めているが、小売の1品平均購買価格は前年並みで推移しており、客の購入品が低価格品に移行していることが見て取れる。また、買上点数の前年比も前月から変わりはなく、買い控えはさほどみられない。価格には敏感になっているが、消費の傾向は変わっていない。

（旅行代理店）…新型コロナウイルスオミクロン株によるまん延防止等重点措置の延長により、個人は新規申込みが止まった状態が継続し、団体は小グループも含めて案件なしの状態が継続しており、販売額では前月と同程度にとどまっている。

（観光名所）…感染状況の変化により、団体のキャンセルが増えている。2～3人の個人客については予約が微増しているものの、団体分の落ち込み分をカバーするには至っていない。県内の感染状況が悪く、外からの振り客がほとんどいない状況である。

（住宅販売会社）…新型コロナウイルスの影響でとにかく人が外に出てこないため、イベント開催しても集客できない。

（輸送用機械器具製造業）…工場の休業、設備稼働の停止がまだまだ続いており、受注、売上が戻りきっていない。

（輸送業）…会社全体の売上は前年を上回っているが、取引先の回復スピードは業種により2極化傾向が現れてきている。特に当社主要の製造業取引先にまだ回復基調がみられない状況のためか、全体として景気の良さは感じられない。

（新聞社[求人広告]）…新型コロナウイルス新規感染者数が急拡大しており、年度末に予定されていたイベントが軒並み中止・延期になっている。他の広告活動もかなり鈍い状況である。

（職業安定所）…飲食・宿泊業と、それらに関連している食品製造業の倒産、廃業による求職者数が増えている。また、後継者がいない企業においては、長引く新型コロナウイルスの影響や燃料・原材料の価格高騰により、体力があるうちに廃業を決意するケースが出てきている。

○「やや悪くなっている」

（コンビニ）…2月初旬の時点では、1月で底打ちしやや上向きに転じたかに思われたが、中旬からの新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大につれて客足が減少している。それにより売上もダウンし、停滞状態が続いている。

（衣料品専門店）…県内の新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、来客数、購買数共にダウンしている。日々の売上がかなり厳しい状況である。

- (高級レストラン) …予約数も減り、キャンセルも相次いでおり状況は悪い。宿泊、出張がほとんどない。
- (タクシー運転手) …1日の乗車回数を11月と比較すると5%程度減少している。3回目のワクチン接種を終えても、新型コロナウイルスオミクロン株の感染から逃れるために外出控えが激しいのが現実である。
- (競艇場) …大雪が続いたことが大きく影響している。
- (その他サービス[自動車整備業]) …新型コロナウイルスオミクロン株の流行による行動制限が顕著である。特に飲食店では来客数が激減し、売上が10分の1になっている店もある。地方でも身近なところでクラスターが発生しており、感染者や濃厚接触者のため出勤できない社員も目立つ。
- (設計事務所) …資材の高騰や品薄による発注時期の見直し、工期の遅延等が発生しており、新規案件に取り組めない状況があるため効率が良くない。
- (金融業) …年末以降、新型コロナウイルス第6波の影響が観光宿泊業を主体に顕在化している。飲食業は酒類提供時間帯の営業が打撃を受けている。また、燃油コストの長い高止まりは運輸・製造業にとっての重しとなっている。
- (広告業協会) …感染拡大が収まらない状況で、販促活動を取りやめる企業も増えており、広告の受注量全体は明らかに減っている。

○「悪くなっている」

- (百貨店) …新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数が日を追うごとに増加し、比例するように来客数が減少したほか、購買意欲も明らかに低下している。以前の買い控えの状況時と似てきている。
- (家電量販店) …子育て世帯への臨時特別給付の効果もなくなり、新型コロナウイルスの感染も高止まりの状況にあり、ガソリン価格なども高くなっていることから、客の消費行動がやや慎重になってきている。買換えの家電製品も単価の高いものからやや現実的な価格に抑えられてきている状況である。
- (その他専門店[靴]) …学校でクラスターが発生しており、来客数が大きく減少している。
- (一般レストラン) …エリア内でも月初めからまん延防止等重点措置が適用になり、適用前まで来店があった常連の足も止まっている。月末には解除になったが感染防止の意識をキープしたままであり、不要不急の外出や夜は特に外出しないようである。
- (観光型ホテル) …新型コロナウイルス新規感染者数が依然減少しないので、先々の予約が鈍い。修学旅行のキャンセルも多くなっている。
- (美容室) …前年2月も新型コロナウイルスによるダメージがあったが、更にそれを上回る売上減少になっている。売上は悪かった前年の80~90%になっている。
- (農林水産業) …昨今の米価下落により、今春以降の稲作を断念する農家が数多く出てきている。
- (その他非製造業[飲食料品卸売業]) …全国的にまん延防止等重点措置による飲食店の時短要請が出ており、県外向けの出荷が停滞している。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (衣料品専門店) …3回目のワクチン接種が進み、新規感染者数が落ち着いてきた段階で消費が戻ってくるとみている。しかし、これまでの経緯から先行きは読めない。
- (旅行代理店) …3月下旬以降の予約済みキャンセルは発生していないこともあり、まん延防止等重点措置の延長解除となれば、3月下旬からの観光人流は春休み後半と花のシーズンで動くものと想定している。また、4月以降もゴールデンウィークに向けて、先行予約が徐々に増加している。
- (美容室) …3か月先は年配者のほとんどで3回目のワクチン接種が終了し、子供も1回目が終わるため、安心感から客がまた店に戻ってきけるとみている。また、来店サイクルもどんどん長くなっているが、それも元に戻ってくると期待している。

(新聞社[求人広告])…新型コロナウイルスオミクロン株にピークアウトの兆しがみえてきたことから、ある程度の回復は望めるとみている。

○「変わらない」

(商店街)…3回目のワクチン接種や5歳以上のワクチン接種、重症者数減少に加え、春がやってくることから、外出が増加すると予想している。しかし、ロシアのウクライナ侵攻などによる原油価格高騰や経済不安により、全ての商品が値上がりし、景気は横ばいとなる見込みである。

(一般小売店[医薬品])…新型コロナウイルスの感染がどのような方向に向かうのか見通せないで、現在の悪い状態は続くともみている。ただし、感染力が弱まれば人々は繁華街へ戻り始めることも考えられる。

(コンビニ)…売上がいつ頃回復するのか今の段階では見当が付かない。ますます悪くなる可能性もある。

(食料品製造業)…新型コロナウイルスの感染状況が良くなり、人の動きが良くなることを期待している。

(土石製品製造業)…4月以降の値上げが浸透するかどうかのポイントである。ロシアとウクライナの戦争が世界経済全体に及ぼす影響を懸念している。

(通信業)…半導体不足の影響が想像以上に長引いており、受注があっても商品を提供できない状況が続いている。

(人材派遣会社)…新型コロナウイルスやウクライナの情勢などにより、先行きがますます不透明になっている。

○「やや悪くなる」

(スーパー)…3月からはロシアへの経済制裁が始まるので、国内消費への影響も避けられない。いろいろな商品の価格が予想外に急騰したり、商品の入荷が遅れたり、なくなったりと、商品の供給網にも影響が出始めるとみている。消費者心理が弱くなり、買い控えが始まらないことを願っている。消費は現状よりやや悪くなるとみている。

(住関連専門店)…主に仏事商品の販売をしているが、新型コロナウイルスの影響により販売が縮小傾向になっている。新型コロナウイルス終息後も販売量の減少は続くともみえており、それについては今後の課題になる。

(高級レストラン)…来客数の回復に時間が掛かるため、景気はやや悪くなる。

(通信会社)…新型コロナウイルスオミクロン株のみならず、ウクライナ情勢の影響が出てきそうである。

(出版・印刷・同関連産業)…新型コロナウイルスの感染状況次第でイベント等が再開すれば良くなる可能性もある。

(電気機械器具製造業)…取引先に関連した業界動向として、全般的に経営数値が悪化傾向である。

(輸送業)…ロシアのウクライナ侵攻により、燃油価格の更なる高騰が現実的なものになってきた。業界だけを見ても軽油だけではなく車両、タイヤ、オイル、尿素水など運送に関わる全ての物が値上がりをしている。景気が良くなると予想できる要素はほとんどない。

(金融業)…春の祭り開催など観光関連での集客力復活は、現時点では考えにくい。また、燃油価格の高騰やウクライナ紛争などの影響が多く業種で顕在化してくるものと予想される。

(職業安定所)…求職者数は前年比で減少しているものの、雇用維持政策が縮小すれば、小規模の飲食・サービス業を中心に事業の継続が難しくなってくる可能性が高い。また、原材料や輸送コストの上昇からくる商品の値上げに対して賃金の上昇が追い付いていないため、消費マインドの減少を招いていくともみている。

○「悪くなる」

(一般レストラン)…前年の11~12月は新型コロナウイルスの感染が収まったので売上が7~8割は戻ったが、この先新型コロナウイルスの新規感染者数はまだまだ増えそうであるため、悪くなるとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上